令和８年10月７日
浜田地域協議会資料
産 業 経 済 部
浜田駅周辺活性化推進室

資料2

浜田駅周辺グランドデザイン（素案）について

1　策定経過

浜田駅周辺の将来像や必要な機能等を検討するため、商店街・飲食・不動産・観光・水産関連事業者、文化教育団体などに対してヒアリングを実施しました。そこで得た意見・提案を踏まえ、グランドデザイン（素案）として４つのエリアごとの方向性と具体的な取組を取りまとめました。

【ヒアリング期間】令和８年５月～７月　　【ヒアリング件数】54件

2　主な意見（各エリアで必要なこと）

【浜田駅前】

・浜田の食や石見神楽などの文化・観光資源を活かし、浜田の魅力を感じられる空間にしてほしい
・市民も日常的に利用したくなる、滞在・交流できる機能が必要
・駅を中心に商店街・図書館・東公園等をつなぎ、歩いて回遊できる環境が必要

【朝日町商店街】

・空き店舗等を活用し、若者や新たな担い手がチャレンジできる場が必要
・「好き・得意」を活かしたスモールスタート（小商い）に挑戦できる機会や支援が必要
・三桜酒造跡地と商店街の相互の回遊・交流を生み出す仕掛けをつくってほしい

【三桜酒造跡地】

・マルシェなどのイベントや市民が自由に過ごせる、新たな交流・滞在拠点として活用してほしい
・日常的に利用でき、気軽に滞在できるとともに、子ども・若者から高齢者まで多世代が学び・交流できる機能が必要
・民間のノウハウを活用し、持続的に運営できる官民連携手法を検討してほしい

【東公園】

・日常的に利用できるスポーツ・健康づくりの場として充実させてほしい
・子どもから高齢者まで、幅広い世代が気軽に利用できる公園が必要
・駅や商店街等とのつながりを意識し、周辺エリアとの回遊を生み出してほしい

3　今後の予定

現時点では、市が考える素案の段階です。今後、パブリックコメント（市民意見公募）などを実施し、必要に応じて修正等を行い、今年度中には正式策定予定です。

4　事業費及び財源

グランドデザインに盛り込んだ内容は、今後、個別事業を具体化する段階で、必要な事業費、財源、費用対効果、維持管理費等を検討し、事業実施の判断を行います。事業費や財源については、具体化の検討状況に応じて、改めて市民の皆さまにお示ししていきます。

石見文化創造都市

はまだみらい

30年先も選ばれる浜田へ

「はまだみらい」は、石見の文化や暮らしを受け継ぎながら、
新しい挑戦を育て、若い世代が「これからも浜田で」と思える
浜田の暮らしをみんなでつくります。



【石見の玄関口】仕事と観光の集積ゾーン

地域交通・医療・商業など暮らしを支える機能と浜田の食や文化が集まり、働く人、暮らす人、訪れる人が行き交う石見の中核拠点エリア

○浜田らしい食メニューの開発・提供
○石見神楽を鑑賞できる場づくり
○駅前道路の緑化・歩行者空間の拡大

石見地域のショーケース｜浜田駅前



ウェルネスゾーン

既存のスポーツ機能を活かしながら、子どもから高齢者まで、誰もが健康で豊かな暮らしを支えるウェルネス拠点エリア

○ランニング・ウォーキングコースの整備
○多世代が参加できる運動・健康プログラムづくり
○スポーツ大会・合宿等の誘致による交流人口の拡大

日常的な健康増進｜東公園

浜田医療センター
浜田駅
銀天街
SHOWADORI
まちなか交流プラザ
石央文化ホール
浜田川遊歩道
HAMADA RIVER
Fab Lab
浜田室内プール
島根県立体育館
第一中学校
ブックカフェ
中央図書館
浜田高校
浜田川遊歩道



好きと小商いが集まるカルチャーゾーン

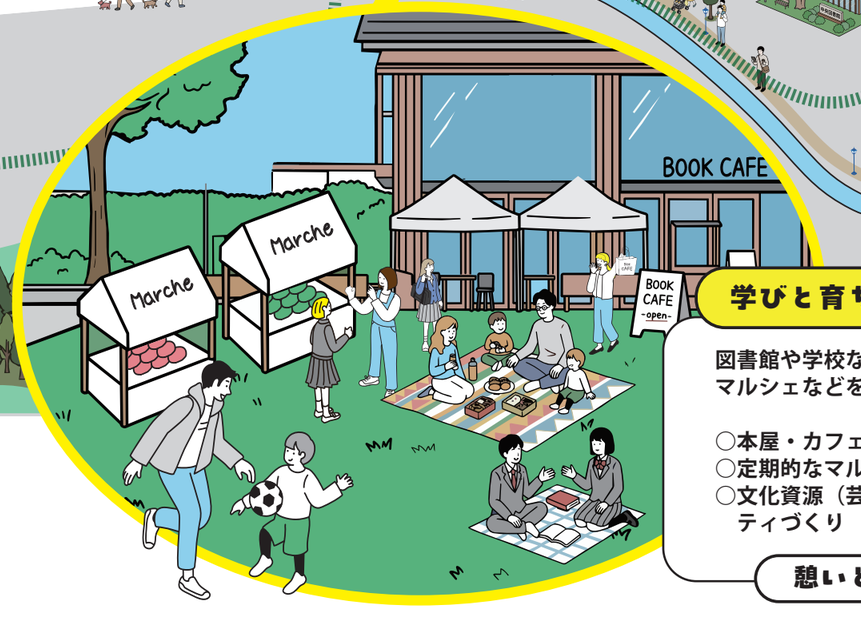
ものづくりや学びなど、小さな商いや多様な活動が生まれる、子どもから大人まで挑戦できるエリア

○空き店舗を活用した小商い・チャレンジショップの誘致
○ファブラボ（市民工房）等ものづくりを楽しめる場づくり
○子どもから大人までの居場所づくり

チャレンジのインキュベーション｜朝日町商店街



歩きたくなる遊歩道｜浜田川



学びと育ちの交流ゾーン

図書館や学校などと繋がり、多世代が集い・学び・交流でき、マルシェなどを通じて新たな出会いや挑戦を育むエリア

○本屋・カフェ・広場等を備えた多世代交流拠点の整備
○定期的なマルシェによる新たな出会いと挑戦の場づくり
○文化資源（芸能・芸術・音楽等）を活用したコミュニティづくり

憩いと交流のラウンジ｜三桜酒造跡地